

公益社団法人 私立大学情報教育協会
第3回事業普及委員会議事概要

I. 日時 平成26年10月31日(金) 18:30~22:00
場所 アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)

II. 出席者 今泉委員長、木村委員、高橋委員、尾崎アドバイザー
(事務局 井端事務局長、平田職員)

III. 検討事項

機関誌 2014年度 No.3(12月号)の原稿確認を行い、修正や加筆を筆者に依頼することにした。詳細は下記のとおり。

1. 巻頭言

- ① 原稿内容は医学教育が中心であるため、タイトル「日本の教育の行き着く先にあるもの」を「日本の医学教育の行き着く先にあるもの」として「医学」を入れる。
- ② 「現在多くの医学部に広がりは見せている。」の「広がりは」を「広がりを」に修正する。

2. 特集

(1) 「JMOOC 設立の背景と狙い」

JMOOCS と JMOOC の違いがわかりにくいので、JMOOC に統一する。

(2) 「JMOOC の可能性と今後の展望」

- ① 「図2 JMOOC 登録受講者数の推移」は文章の説明のみにする。
- ② 反転学習については、具体的に紹介してもらいたいため、本協会の平成26年度教育改革 ICT 戦略大会で紹介いただいた JMOOC での反転学習の事例として、NTT ドコモのオンライン学習と反転学習の仕組み図、東京大学の本郷和人教授による対面授業の流れの表、受講者の反応を追加して掲載する。
- ③ JMOOC へのアンケート結果の円グラフは、わかりやすくするため、棒グラフに作り直す。

(3) 「JMOOC 講座「俳句一十七字の世界」を担当して」

写真(講座画面例、修了証)や、肖像権問題の可能性のある受講生の写真は削除する。

(4) 「放送大学 MOOC 「NIHONGO Starter (にほんご にゅうもん)」の開発」

- ① 「xMOOC」の後に「(Coursera, Edx, Udacity)」を入れて、具体的に明示する。
- ② 「2. MOOC (ムーク) とは何か」の説明は、過去の特集で説明した経緯があるため、今回の原稿からは削除する。
- ③ OIJ-MOOC プラットフォームの説明が斜体で書かれているが、意図がわかりにくいため、他の本文と同様の表示になるよう説明を加えるなど違和感のないようにする。

3. 人材育成のための授業紹介：物理学

(1) 「多様な学習履歴を持つ学生に対する物理学教育」

- ① 図1~図5の棒グラフの下にある数値の表が紙幅の都合で読みにくいため、この部分は本文で説明し、年度等の色別の部分だけグラフの右横に「凡例」を追加する。
- ② 図4下の文章「肯定的な「あてはまる」と「ややあてはまる」の和は、・・・」の文章が複数回記述されており、これを端的にするため、「肯定的な回答(「あてはまる」と「ややあてはまる」の和)」とカッコで説明し、以降は「肯定的な回答」と簡略化する。なお、「否定的な・・・」も同様に対応する。
- ③ 図が多く4ページで入らないため、5ページでレイアウトする。

(2) 「「物理がとてもしんどい」な学生に対するリメディアル教育」

ポータルサイトの画面例を挿入し、本文をよりイメージしやすいようにする。

(3) 「ICT利用の授業外学習を活用した文系向け物理学授業の試み」

実践事例ではない筆者の考え記述が多いため、「1. はじめに」を削除するとともに、「6. 今後の課題」の最後にある意見も削除する。

4. 教育・学修支援の取り組み

I C Tを活用した教育システム関連など、具体的な支援内容を追加するため、本文と画像等を以下のとおり追加する。

- ① 3ページ目 4. の「(3) 語学教育センター」では、教材開発、能力別の学修、個別指導、検定試験サポートのなどの取り組みの中で、教育支援システムなど I C Tを活用しているものがあれば、その画面例を挿入する。
- ② 3ページ目 5. の「(2) 管理栄養士国家試験 自習室」では、 e-Learning システムの画面例を挿入する。
- ③ 3ページ目 5. の「(3) 修学ポートフォリオ」～最後では、「SDChart の3要素」の説明をもう少し前に移動してわかりやすくし、修学ポートフォリオ (SDChart) の画面例、授業のリフレクションシートの画面例を挿入する。
- ④ 図7、図8の説明を追加する。
- ⑤ 最後の「今後の課題」は、今後の課題や予定を最後に追加する。
- ⑥ 上記の追加に伴う分量調整として、写真 (本文で図2、図3、図4、図6) を削除する。

以上